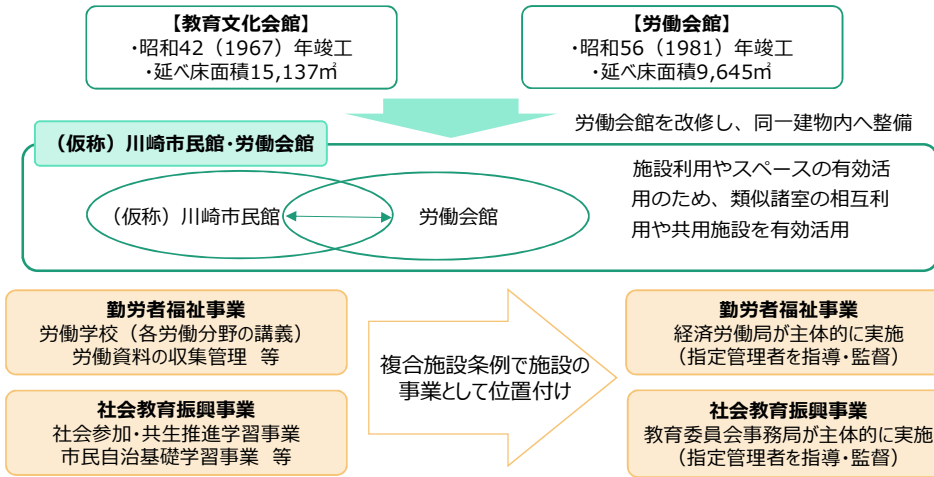


# 報告事項No. 9・10・11 資料 (仮称)川崎市民館・労働会館の再編整備について

## 1 再編整備の概要

本事業は、川崎市教育文化会館（以下「教育文化会館」という。）と川崎市立労働会館（以下「労働会館」という。）の再編整備に併せて、現在の労働会館施設を大規模改修し、（仮称）川崎市民館・労働会館を設置することにより、それぞれの館がこれまで行ってきた社会教育振興事業と勤労者福祉事業を継続するとともに、2つの機能が同一建物内に設置されていることのメリットを活かし、幅広い利用者層に対応した事業・サービスを推進していくものです。



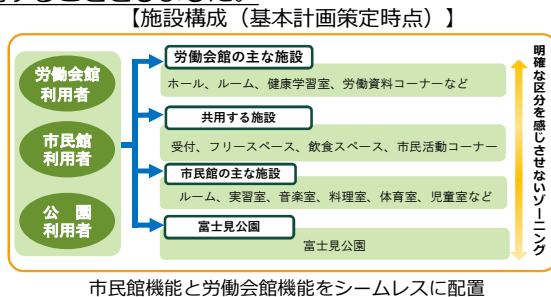
## 2 これまでの経過

時期	事項
平成30（2018）年3月	「川崎区における市民館機能のあり方～再編整備の方向性～」策定
平成31（2019）年3月	「川崎市教育文化会館及び川崎市立労働会館の再編整備に関する基本構想」策定
令和3（2021）年1月	「川崎市教育文化会館及び川崎市立労働会館の再編整備基本計画」策定
令和3（2021）年5月	実施設計着手
令和4（2022）年8月	「（仮称）川崎市民館・労働会館 管理運営計画」策定

基本計画では、基本構想策定後の状況の変化（特定天井対策、令和元年度東日本台風等の風水害被害を踏まえた防災・BCP機能の強化等）を踏まえ、諸室配置、整備メニュー、スケジュール等を見直すとともに、大規模改修により改築と同程度の機能改善が見込まれること、改修概算工事費と改築概算工事費の比較等を踏まえ、大規模施設の複合化・長寿命化のモデル事業として大規模改修を実施することとしました。

また、施設構成は、両施設の機能の相乗効果を最大限発揮するため、利用者にとって明確な区分を感じさせないゾーニングとし、市民館機能と労働会館機能をシームレスに配置しました。

令和4年に実施設計を完了し、令和5年3月に工事入札を行ったところ入札不調となり、再発注に向けた対策を検討しました。



## <改修及び改築工事費の推移>

事項	時期	工事費		改修工事の内容、工事費増額の要因
		改修	改築	
川崎区における市民館機能のあり方	平成30（2018）年3月	—	—	—
再編整備に関する基本構想	平成31（2019）年3月	—	—	—
再編整備基本計画	令和3（2021）年1月	約48.0億円	約77.0億円	●老朽化対策 ●特定天井、耐震対策 ●防災・BCP対策
管理運営計画	令和4（2022）年8月	約49.6億円	約77.0億円	●労務費の増額（約1.6億円）
実施設計（常任委員会報告）	令和5（2023）年2月	約69.1億円	約91.0億円	●資材高騰による増額（約8億円） ●諸室の配置計画の確定など詳細設計による増額（約12.3億円）
入札不調後の再発注時（常任委員会報告）	令和5（2023）年8月	約79.1億円	約103.7億円	●建築コストの高騰、工事期間の変更による増額（約10億円）

## 3 工事請負契約の締結について

入札不調の原因を踏まえ、工事費、仕様、工事発注方法等の見直し等を行い、令和5年11月に入札を行ったところ、次の工事の落札者が決定し、令和6年第1回市議会定例会に工事請負契約を議案として提出します。なお、舞台照明設備、舞台音響設備及び昇降機設備は、今後、別途発注し、本年3月に入札を予定しています。

工事名	契約金額	完成期限	契約の相手方
労働会館改修工事	41億4,700万円	R7.12.22	前田建設工業株式会社
労働会館改修電気設備工事	13億1,351万円	R7.12.22	丸井・光陽共同企業体
労働会館改修空調調整その他工事	18億1,500万円	R7.12.22	研空・稲水共同企業体

## 4 今後のスケジュール

令和6年4月に工事着手し、令和7年12月に竣工、令和8年2月に供用開始できる見込みです。また、施設設置条例として、令和6年第2回市議会定例会に（仮称）川崎市民館・労働会館条例案を提出する予定です。

なお、教育文化会館は、（仮称）川崎市民館・労働会館の供用開始後に解体工事に着手するため、関連事業である富士見公園再編整備における教育文化会館跡地整備については、令和9年4月に着手し、令和10年4月に市民利用施設としての利用を開始する見込みです。

